



# 神奈川災害ボランティアネットワークNEWS

発行：NPO法人神奈川災害ボランティアネットワーク

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民活動サポートセンター 11 階

Fax : 045-324 - 1120 E-mail:jimuk.ksvn@gmail.com



令和 6 年能登半島地震支援活動

## 支援活動で得られたノウハウを受援活動に生かそう

NPO 法人

神奈川災害ボランティアネットワーク

理事長 河西 英彦



皆様におかれましては、KSV ネットの運営及び活動に対しまして、ご理解とご協力に深く感謝申し上げます。第 13 回定期総会では、神奈川県防災警察常任委員会・川崎委員長を始め多くのご来賓より心温まる励ましのご祝辞を頂き、つつがなく開催されました。また今回は役員改選期に当り、臨時理事会において再び理事長を仰せつかりました。皆様のご支援を頂きながら職務を全うしてまいります。後継者への継承も理事長の大切な役割です。よろしくお願い致します。

KSV ネットの活動は、多種多様な災害に対し被災者の日常生活の速やかな再構築です。それに加え、生活再建の基盤整備のお手伝いも優先されます。神奈川県内での災害復興は、被災者の健全な日常生活の再建をお手伝いする事です。災害時には、災害支援四者協定「神奈川県・神奈川県社会福祉協議会・神奈川県共同募金会・神奈川県災害ボランティアネットワーク」の四者による「神奈川県災害救援ボランティア支援センター」を開設し怠りなく支援します。県内市町村行政・社会福祉協議会との訓練も定例化され、顔の見える信頼の関係が構築されています。四者の意思の疎通は成熟し正に顔の見える関係が構築されています。

災害列島 - 日本、正に息つく暇のないほど発生、元旦に能登半島地震が発生、大災害となりました。半島と言う地理的条件もありましたが、ずさんな道路工事の為重要な交通手段を失い、併せてライフラインの復旧の遅れは人命にも作用しました。県の防災体制もさることながら、国の支援も遅きに逸しました。自衛隊も半島防衛・離島防衛の訓練はいかにと、今国会で改善策を審議しています。国民の安全を最優先すべき手立てこそ優先しましょう。

能登半島地震では、ボランティアバスに 300 人余のボランティアを志賀町に派遣しました。9 月からは、台風 10 号に伴う記録的大雨で大きな被害を受けた平塚市の災害ボランティアセンターに入ります。

支援活動で得られたノウハウを受援活動に生かそう！皆様のご協力をお願いします！

神奈川災害ボランティアネットワーク ホームページ URL: <https://ksvn.org/>



# 神奈川災害ボランティアネットワーク 第 13 回定期総会

2024 年 6 月 18 日(火) に開催され、提案された議案についてはすべて可決承認されました。

会場: かながわ県民活動サポートセンター 11 階 講義室 1、オンライン併用

出席状況: 会員定数 32 会場出席 12、オンライン出席 5、委任出席 8、欠席 7

議案提案: 第1号議案 2023 年度活動報告

第2号議案 2023 年度会計報告、会計監査報告

第3号議案 2024 年度事業計画(案)

第4号議案 2024 年度予算(案)

第 5 号議案 2024-2025 年度役員改選について

御来賓: 川崎 修平 様 神奈川県議会防災警察常任委員会 委員長

金子 玄 様 神奈川県暮らし安全防災局防災部危機管理防災課 応急対策グループ GL

清水 明 様 かながわ県民活動サポートセンター 所長

中山 博也 様 かながわ県民活動サポートセンターボランティア活動サポート課 課長

志田 淳一 様 神奈川県社会福祉協議会地域福祉部地域課 課長

中島 孝夫 様 神奈川県共同募金会 事務局長

池田 博毅 様 神奈川県弁護士会災害対策委員会 副委員長

岩堀 義一 様 神奈川県農業協同組合連合会総務企画部 部長



## ◆ 2023 年度 活動・決算報告(要旨)

コロナが感染症 5 類となり、委員会活動も活発になりました。関東大震災から 100 年。震源地神奈川県として「ぼうさいこくたい 2023 かながわ」が横浜国立大学を会場に開催されました。KSV ネットは、共同企画「関東大震災から 100 年を迎え、これからの大震災における防災対策～自助・共助・公助連携力向上」に、「ICT 活用災害ボランティアセンター体験」「防災・減災クイズ」の内容で出展参加し、1,200 人に参加・体験をして頂きました。

支援力は受援力に通じます。災害地支援活動は 9 月豪雨災害に秋田市にボラバス 2 便、10 月台風 13 号豪雨水害にいわき市にボラバス 2 台を派遣しました。1 月 1 日 16 時 10 分に石川県能登地方で M7.6 の地震が発生(令和 6 年能登半島地震)し、震度 7 を観測しました。道路事情悪く、現地の災ボラ不足が続いています。KSV ネットは志賀町社協に直接お伺いして「かながわ能登支援ボランティアバス」を当 KSV ネット、NPO 法人かながわ 311 ネットワーク、かながわ災害ボランティアバスチームと三者協働で運行を始めました。

## 2023 年度収支決算概要

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日(単位:円)

科目	金額	
1. 経常収入		
・ 受取会費	320,000	
・ 受取寄付金	10,000	
・ 受取助成金	2,796,030	
・ 事業収益	370,000	
・ その他収益	7,534	
経常収入計		3,503,564
2. 経常費用		
・ 事業費計	2,830,167	
・ 管理費計	280,491	
経常費用計		3,110,658
当期正味財産増減額		392,906
前期繰越正味財産額		4,952,802
次期繰越正味財産額		5,345,708



ぼうさいこくたい 2023



秋田市水害支援活動



# ◆ 2024 年度 活動・予算計画(要旨)

令和 6 年能登半島地震の被害は甚大であり、積極的に対応していきます。また今回の活動経験を活かして神奈川での災害対応の連携を確立しておかなければなりません。災害時に中間組織が機能するためには、行政・社協・災ボラ団体との連携がいかに大切か再認識されました。情報手段の多様化に則した整備、被災地支援のマニュアル化、講演会・勉強会等の開催による人材育成を強化していきます。

法人の事業目的に沿った活動の推進は、委員会活動の充実にかかっています。委員会間の連携を強化し、ますますの活動の活性化を図っていきます。

## 2024 年度予算概要

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日(単位:円)

科目	金額	
1. 経常収入		
・受取会費	323,000	
・受取寄付金	0	
・受取助成金	3,400,000	
・事業収益	530,000	
・その他収益	10,000	
経常収入計		4,263,000
2. 経常費用		
・事業費計	3,910,000	
・管理費計	340,000	
経常費用計		4,250,000
当期正味財産増減額		13,000
前期繰越正味財産額		5,345,708
次期繰越正味財産額		5,358,708

## 令和 6 年能登半島地震被災地復興支援

### ◎被災地への義援金募金

2024 年 1 月 1 日、能登半島地震が発生しました。震度 7 が観測され、日本海側では津波も発生し、被害は広範囲に及びました。被害を遭われた皆様に改めてお見舞い申し上げます。KSV ネットでは発災直後より被災地の情報を収集しましたが、現地の受け入れ体制および道路等のインフラ状況を考慮すると先遣隊の派遣、被災地支援ボランティアバス派遣等の直接的な支援活動は困難な状態であるため、まずできる支援として被災地への義援金募集を始め、現地の受け入れが整った時点で直接的な支援活動を行なうこととしました。寄せて頂いた義援金は 5 月 25 日、河西理事長より輪島市社会福祉協議会に直接お渡ししました。賛同していただいた方々に感謝申し上げます。



### ◎防災講演会「大災害への備え・・・能登半島地震現地報告」



2 月 16 日、発災直後に現地で活動された「オフィス園崎」代表(元全社協 福祉・防災担当)園崎秀治氏を講師に迎え、防災講演会を開催。被害状況、現地の支援体制、災害ボランティアの受け入れ状況等の報告を受け、今後の支援活動の参考となりました。



### ◎被災地復興支援ボランティアバス派遣

NPO 法人かながわ 311 ネットワーク、かながわ災害ボランティアバスチームと KSV ネットの協働による「かながわ能登支援ボランティアバス」。第 1 便は 3 月 29 日、ボランティア 31 名をのせて石川県羽咋郡志賀町に向け出発しました。ボランティアバスは第 1 便 31 名:3 月 29 日～31 日、から始まり第 14 便:8 月 9 日～11 日まで派遣しました。活動先:石川県志賀町 災害ボランティアセンター。活動内容:被災家屋からの災害ゴミの搬出、仕分け、軽トラへの積み込み、仮置き場への運搬、破碎したブロック塀の運搬等。全便とも活動日前日夜横浜発、活動日翌日朝横浜着でしたが神田交通(株)様のご協力を得て無事に活動出来ました。



ボランティアバスは、KSV ネット等の三者とともに、日頃から連携している、かながわ県民活動サポートセンターボランティア活動サポート課、神奈川県社会福祉協議会、神奈川県共同募金会のご協力のもと運行し、中央共同募金会「ボラサポ・令和 6 年能登半島地震」の助成を頂きました。



**かながわコミュニティカレッジ** (災害ボランティア入門編:7月18日・25日)

**(災害ボランティアコーディネーター養成講座:8月3日・17日・24日)**



各地で多発する風水害や地震発生時には、災害ボランティア活動が大きな力を発揮します。神奈川県内で発災した際に備えるために、災害時の被災者の状況やボランティア活動について理解し、地域で受援力を高めることが大切です。本講座では、災害ボランティアセンターの役割や、災害時に支援を必要とする方

とボランティアをつなぐ、コーディネーターの活動について学びました。

第 13 回総会、臨時理事会において下記新役員が承認されました

**2024~2025 年度役員**

理事長	河西 英彦	横浜災害ボランティアネットワーク会議
副理事長	清水 幸次	横須賀災害ボランティアネットワーク
副理事長	植山 利昭	川崎・災害ボランティアネットワーク会議
副理事長	斎藤 明良	ひらつか災害ボランティアネットワーク
理事	前川 吉和	(特非)神奈川県歩け歩け協会
理事	吉田 見岳	葉山災害ボランティアネットワーク
理事	荒井 一之	かながわ災害ボランティアバスチーム
理事	倉島 勝治	相模原災害ボランティアネットワーク
理事	石橋 友晴	海老名災害ボランティアネットワーク
理事	塚原 大輔	日本赤十字社神奈川県支部
理事	舩田 悦子	かながわ災害情報連絡会
理事	塩沢 祥子	かながわ災害救援ボランティアサポートチーム
監事	川辺 裕子	(特非)都市防災研究会
監事	原田 昌義	神田交通株式会社

**今後の予定**

**横浜市総合防災訓練**

9月29日(日) 9時~12時

会場 横浜市緑区 長坂谷公園

**防災ギャザリング 2024**

10月12日(土) 9時30分~13時30分

会場 横浜市神奈川区沢渡

横浜市民防災センター 沢渡公園

**ビッグレスキューかながわ**

11月23日(土)9時30分~14時

会場 厚木市下津古久

神奈川県総合防災センター

**第 29 回震災対策技術展**

2月6日~7日(日)

会場 パシフィコ横浜 D ホール

**明日に向けて頑張ろう!!**

編集後記

8月8日の日向灘地震は宮崎県で最大震度6弱および最大長周期地震動階級3を観測。気象庁は同日、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)を発表しました。翌9日には最大震度5弱を観測する地震が県内で発生。そのような中、台風10号の影響による豪雨災害に見舞われ、小田原市では24時間雨量が観測史上最大を記録、二宮町では警戒レベル最高の「緊急安全確保」が一時、出され、横浜市の一部や平塚市など県内のほぼ全域に避難指示が出され、鉄道や道路に大きな影響が出ました。

気象庁の「防災気象情報と警戒レベルとの対応について」では、住民は「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動をとるとの方針が示され、この方針に沿って自治体や気象庁等から発表される防災情報を用いて住民がとるべき行動が示されています。「備えよ常に」 普段の生活の中での「備え」や「地域でのつながり」を識することの大切さを痛感します。

(広報委員:櫻井展子・田口謙吉・石田昌美・丸山善弘)



この広報誌は共同募金年末助け合い分配金で発行しています